

平成 19 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 土屋ホーム
代表者名 代表取締役社長 川本 謙
(コード番号 1840 東証第 2 部・札証)
問合せ先 経営管理室長 前川 克彦
(TEL. 0 1 1 - 7 1 7 - 3 3 3 3)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 12 月 15 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。
また、平成 19 年 10 月期中間決算におきまして、特別損失が発生いたしますのでその内容についても併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正
・平成 19 年 10 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日）
(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,880	△999	△1,089
今 回 修 正 予 想 (B)	12,210	△1,305	△1,364
増 減 額 (B－A)	330	△306	△275
増 減 率 (%)	2.8	-	-
(ご参考) 前年中間期実績 (平成 18 年 10 月中間期)	11,307	△1,212	△1,964

2. 個別業績予想数値の修正
・平成 19 年 10 月期中間個別業績予想数値の修正（平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日）
(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,300	△750	△798
今 回 修 正 予 想 (B)	7,600	△892	△1,048
増 減 額 (B－A)	300	△142	△250
増 減 率 (%)	4.1	-	-
(ご参考) 前年中間期実績 (平成 18 年 10 月中間期)	7,100	△813	△1,585

3. 修正の理由

当連結中間会計期間における当社グループの業績は、売上面は当初予定をクリアしたものの、利益面に関しましては、販売促進に係る経費が増加するとともに、資材・設備の仕入れ価格が上昇し、経常損失は13億5百万円となりました。

また、資産の健全化を進めるために、一部建物及び土地について不動産鑑定等に基づき評価を見直し、減損損失の追加計上を行い、当期純損失は13億64百万円とそれぞれ当初計画を下回る見込みとなりました。

また、個別業績に関しまして、連結と同様の理由から、経常損失は8億92百万円、当期純損失は10億48百万円となりました。

4. 特別損失の計上について

(1) 固定資産の減損損失の計上について

当社グループ所有の一部建物及び土地について不動産鑑定等に基づき評価を見直し、資産の健全化を図るために減損損失を追加計上することといたしました。

(2) 減損損失額

平成19年10月期中間決算において、以下のとおりの減損損失を追加計上いたします。

・連結及び単体

場 所	用 途	種 類	減損損失計上額
北海道余市郡	遊休資産	建物、構築物及び土地	62 百万円
北海道滝川市	事務所	建物、構築物及び土地、その他	40 百万円
宮城県仙台市	モデルハウス	建物、構築物及びその他	25 百万円
合 計	—	—	128 百万円

(3) その他の特別損失

・連結

科 目	計 上 額
販売用不動産評価損	40 百万円
固定資産除却損	15 百万円
役員退職慰労金	2 百万円
合 計	58 百万円

・単体

科 目	計 上 額
固定資産除却損	12 百万円
役員退職慰労金	2 百万円
合 計	15 百万円

5. 今後の見通し

売上が堅調に推移していることと、当社が保有する投資有価証券の一部を売却し、平成 19 年 10 月期に特別利益を計上いたしますので、平成 18 年 12 月 15 日の決算発表時に公表いたしました、平成 19 年 10 月期の業績予想（連結・個別）の修正はありません。

※業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上